

令和5年度
(2023年度)

市長公室の取り組み

<部長の方針・考え方>

「誰一人取り残されないまちづくり」に向け、常に市民と向き合い、寄り添い、思いを共有しながら全職員が一丸となって、積極的かつ創造的に施策を展開していきます。これを成し遂げるためには働く職員が心身ともに良好な状態を保ち、仕事に意義を感じながら個性や能力を発揮できることが何にも増して重要です。皆で良いものをつくり上げようと思いを重ねることができる健全な組織運営づくりに全力を尽くします。

<部の構成>

秘書課

広報プロモーション課

広聴相談課

人権政策室

市民活動課

<主な担当事務>

(1) 秘書に関すること。

(2) 広報活動、シティプロモーションに関すること。

(3) 報道機関との連絡に関すること。

(4) 広聴及び市民相談に関すること。

(5) 人権・非核平和、いじめ対策及び男女共同参画施策に関すること。

(6) 住民自治の振興及び市民活動の支援に関すること。

重点的な取り組み：健康経営を踏まえた組織・人材マネジメントの推進

認証を得た健康経営の観点をはじめ、人材マネジメント管理職部会による「職位ごとの役割の明確化」といった分析や提言について、部内で共有するとともに各職場で議論する機会をつくるなどすることにより、所属長がマネジメント業務の優先度を高める意識を持つよう取り組みます。

重点的な取り組み：あらゆる人権侵害を許さない市の姿勢を発信

人権施策をより効果的・総合的に推進するために策定した「人権尊重のまちづくり基本計画」の実効性を高めるため、人権施策の進捗管理を行うとともに、社会問題化しているヘイトスピーチやインターネットによる誹謗中傷などあらゆる人権侵害を許さないという市の姿勢を発信するため、「人権尊重のまちづくり条例」の改正に向け検討を進めます。

重点的な取り組み：被害者に寄り添った解決目指す「いじめ」相談窓口を開設

「いじめ」を市全体の課題として捉え、従来からの学校・教育委員会での対応に加えて市長部局での防止対策に取り組みます。相談窓口を開設し、把握した行為については迅速に対応するとともに、被害・加害の背景にある福祉的な課題にも目を向け、関係部署とも連携しながら被害者に寄り添った解決を目指します。また、いじめ防止に向けた広報・啓発を行い、効果のないいじめ防止対策を検討します。

重点的な取り組み：ジェンダーギャップ解消へ男女共同参画を推進

第3次男女共同参画計画改定版に基づき、DV防止に向けた啓発、政策及び方針決定過程への女性参画の促進、固定的な性別役割分担意識の解消や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）への気付きを促すなど、ジェンダーギャップ解消の実現に向け取り組みを進めます。特に「身体的性差への理解促進」は男女共同参画推進の基盤となる取り組みであり、女性の負担軽減につながることから、本庁舎トイレに生理用品を配置するとともに配置場所の拡大も検討します。

重点的な取り組み：コロナ後の社会不安や悩みに寄り添う相談機能の充実

コロナ後の社会状況の変化に伴い多様化・複雑化する市民の不安や悩みに寄り添うため、相談メニューの追加やオンライン相談の拡充に取り組みます。また「市長への提言」は、市民が市長に直接意見を述べるができる貴重なツールであることから、周知に努めるとともに提言に込められた市民一人ひとりの思いを受け止め、担当部署との連携を図りながら市政に反映できるよう努めます。

重点的な取り組み：ワンストップ完結のコールセンターへAIの可能性検討

市役所への最初の問い合わせ先となる総合コールセンターの取り次ぎ時間短縮やつながりなくさの改善といった課題解消に向け、最新AIによる文章生成技術（チャットGPT等）の活用を検証します。検証を通し「よくある質問」（FAQ）検索を強化したチャットボットや音声自動応答（IVR）の導入可能性を検討し、ワンストップで完結するコールセンターの整備を目指します。

重点的な取り組み：『伝える』から『伝わる』へ全庁的な情報発信力強化

情報発信施策推進委員会で検討を進めている「ルールづくり」「意識革命」「アピール企画」の3つの取り組みについて、昨年度末に完成した枚方市情報発信ガイドラインを活用し、職員一人ひとりの意識を高めることを目指す研修や多様なツールを用いた情報発信や、枚方ならではの魅力を庁内横断的な連携のもと、市内外に広くアピールする企画の展開を実行していきます。また、市施設に設置を進めるデジタルサイネージやSNS広告といった新たな媒体の効果的な活用も検討します。

重点的な取り組み：みーんな枚方家族！市内外へシティプロモーションの実践

市民のまちへの愛着を深めるツールである市テーマソング「この街が好き」のさらなる認知度を向上させ、若者から高齢者まで幅広い世代に人と人との繋がりを大切にしたい取り組みを進めます。また、市PR大使による発信やシティプロモーションサイトのコンテンツ充実により市外への発信力も高め「暮らしたくなるまち」をアピールします。これらの取り組みにより枚方の認知度を向上させ「好きになってくれるなら、みーんな枚方家族」をキャッチフレーズに、市内外の人と人の輪を広げていきます。

重点的な取り組み：地域活動の課題解決へ活性化を推進

自治会加入率の減少やコミュニティ・自治会の高齢化、役員の担い手不足といった課題を解決するため、コミュニティ・自治会活動における①好事例の情報共有や校区間の意見交換②運営に関する相談窓口の設置・講習会の実施③地域と大学生の協働などの取り組みを、枚方市コミュニティ連絡協議会と連携して進めます。

重点的な取り組み：地域の情報共有ICT化を段階的に

役員の負担となっている回覧・掲示物の仕分けや地域住民への周知について、情報共有の迅速化・効率化を図るため枚方市コミュニティ連絡協議会と連携し、LINEを活用した情報共有のICT化を段階的に進めます。